

## 開始までマイクはミュートでお待ちください

### 座談会

英語で行う専門授業に興味がある方が広く参加できるEMIに係る談話形式のセミナー  
～英語による授業について日本語で話し合しましょう！～

- 講師 横川 綾子 特任教授（明治大学国際連携機構）
- 目的 EMI（英語による教授法）の重要性を認識し、EMIの実践における課題と対処法を教員間で議論すること
- 開催日時 2024年10月3日（木） 13：00～14：30
- 対象者 専任教員・特任教員・兼任講師（助手を除く）  
—今後EMIを実施する予定がある、または、実施することに興味がある方  
—これまで実施してきたEMIを振り返り、さらなる改善をしたい方  
—EMIの実践について他の先生の意見や体験談を聞きたい方
- 実施内容 1.EMIの現状  
2.EMI実践上のコツと課題  
3.グループディスカッション  
4.まとめ
- 定員 50名
- 開催形態 オンライン形式
- 参加費用 無料 ※参加時に使用するPC、ヘッドセット等は各自ご準備ください。
- 使用言語 日本語



スライドはURLからも  
ご覧いただけます ↓



記録用として本研修を録画します。また、明治大学HPや広報資料への実施報告掲載時に、研修中のスクリーンショットを利用します。録画や撮影したスクリーンショットは上記の目的以外では利用いたしません。

1

## 本日の予定

- ・ EMIの現状と課題
- ・ EMI実践上のコツ
- ・ グループディスカッション
- ・ まとめ

※途中で5分間の休憩を入れます

スライドはURLからも  
ご覧いただけます ↓

[https://www.canva.com/design/DAGRvwRwPng/yrYnuCzJXFEP\\_EKa8bCXMQ/edit?utm\\_content=DAGRvwRwPng&utm\\_campaign=designshare&utm\\_medium=link2&utm\\_source=sharebutton](https://www.canva.com/design/DAGRvwRwPng/yrYnuCzJXFEP_EKa8bCXMQ/edit?utm_content=DAGRvwRwPng&utm_campaign=designshare&utm_medium=link2&utm_source=sharebutton)



2

## 座談会の趣旨

# 「話題提供」と「課題の持ちより」



### 話題提供

- EMIの現状や課題を概観します
- 直近で受講した2つのEMIセミナーの内容を一部共有します



### 課題の持ちより

- 先生方の事前アンケート回答から抽出したお悩みの解決策を探ります
- 効果的だった授業実践や先生方の経験談をぜひ共有ください

3

## 話題提供

1. EMIの現状と課題
2. EMI実践上のコツ



4

## 1. EMIの現状と課題

英語ヒエラルキー グローバル人材教育を受けた学生はなぜ不安なのか  
佐々木テレサ 福島青史 著

2024年5月15日発売 定価：990円（税込み）ISBN 978-4-334-10325-5 光文社新書

急速なグローバル化に対応すべく、政府は高等教育でEMIプログラム（母語が英語でない地域で英語で教科を教えるプログラム）の設置を進めている。**2021年度では四年制大学の41%が英語による授業を実施、英語による授業のみで卒業できる学部は88にのぼる。**だがこのEMI教育を受け留学を経て卒業した学生の中に、母語である日本語の不安を覚える人が現れている。英語能力による明確なヒエラルキーの中で、日本語だけでなく様々なことに自信を失っている。またグローバル人材として就職した先では、旧来の企業風土への違和感と幻滅も覚えている。本書では卒業生への聞き取りを基に、グローバル人材育成教育の内実を示し、EMIの実施に一石を投じる。第II部で指導教員が、言語習得の臨界期以降の外国語教育に付随する問題を解説。複数言語話者の葛藤をコントロールする方法を考える。



5

## 1. EMIの現状と課題

EMIの背景と日本人学生の現状について —SGUの現場から— EMI and Japanese College Students: From SGU Classrooms, 中鉢恵一 (2020)

file:///C:/Users/a-z/Downloads/keieironshu95\_107-118.pdf

EMIは、English as a Medium of Instructionの略でEnglish-Medium Instructionと表記されることもある。EMIには、研究者間で共通した定義は存在しないが、英語のスキルそのものを教えるのではなく、英語を使って内容を教えるということでは、共通認識があると考えられる。

（中略）EMIを大学教育という範囲で捉えてみると、その定義はもう少し明確にできる。第一に、**EMIの目標は英語という言語を教えるのではなく、専門的な知識（教養も含む）を教える**ということにある。知識を学ぶ言語が母語ではなく英語ということに意味がある。第二に、**教授者は、英語教育を専門とする者ではなく、特定の分野の専門家**で、英語ネイティブスピーカーあるいはバイリンガルであることが多い。第三に、**学習者は英語を第二言語として学習しており、専門・教養科目を英語で学べるほどの英語スキルをもっている**ということである。ヨーロッパで行われているEMIは、少なくとも上記の条件は満たしていると言ってよい。(p. 109)

6

## 1. EMIの現状と課題

EMIの背景と日本人学生の現状について —SGUの現場から— EMI and Japanese College Students: From SGU Classrooms, 中鉢 恵一 (2020)

file:///C:/Users/a-z/Downloads/keieironshu95\_107-118.pdf

EMIを学部教育の一部に取り入れる上での最大の課題は、学部教員間のコミュニケーションである。特に英語教員と専門科目教員との十分な話し合いが必要である。英語能力にたけた専門科目教員がEMIを提供することも多いが、**日本人学生の英語能力をよく知っている英語教員とコミュニケーションをとることによって、学生が英語に躓いたときに適切な処理を行うことができることもある。**

(中略) EMIは、どうしても実施しなければならないものでもない。すべての科目を英語で行う学部があっても一向にかまわないが、その逆も全く問題はない。**大学は教育を提供するところであり、知的好奇心を湧き起こし、知的レベルを掘り下げることが中心的な使命であり、それがEMIによって妨げられるのであれば、無理してやらなくともよいと考える。**それぞれの大学の教育観や学生のニーズを十分認識した上で、EMIを実施していただきたいと思う。(p. 114)

7

## 1. EMIの現状と課題

EMIの背景と日本人学生の現状について —SGUの現場から— EMI and Japanese College Students: From SGU Classrooms, 中鉢 恵一 (2020)

file:///C:/Users/a-z/Downloads/keieironshu95\_107-118.pdf

英語で授業を展開する第二の意義は、より多くの国際学生を招くことであろう。**国際的な大学として認知されるには、10%程度の国際学生が必要**である。3万人の学生数があれば、3000人ほどの留学生が必要となる。本学\*の留学生の数は5%(2018年)ほどであり(交換留学生を除く)、**しかも地域的にアジア出身者がほとんどであることを考えると、英語を第一言語とする学生の割合は極めて少ない。**そのような環境を考えると、英語で授業科目を劇的に増やすというのには、リスクが生じることも忘れてはならない。(pp. 114-115)

本学\* = 東洋大学

8

## 明治大学外国人受入留学生数：2384人（2023年度）うち学部1340人

[https://www.meiji.ac.jp/koho/disclosure/student/6t5h7p00000157xn-att/73\\_2024.pdf](https://www.meiji.ac.jp/koho/disclosure/student/6t5h7p00000157xn-att/73_2024.pdf)



外国人受入留学生数 (単位:人)

年度	学部	大学院	専門職	短期プログラム	合計
2016	1,066	375	110	343	1,894
2017	1,184	446	106	341	2,077
2018	1,245	477	119	434	2,275
2019	1,328	515	143	334	2,320
2020	1,136	465	167	434	2,202
2021	1,116	457	176	364	2,113
2022	1,253	460	179	266	2,158
2023	1,340	426	188	430	2,384

(注)1 留学生は本学で学籍を有する次のもの。  
 ①外国人留学生入試で入学した学生  
 ②交換留学生  
 ③外国人留学生入試以外の入試（非正規生を含む）で入学した学生で在留資格「留学」を所持する学生  
 (注)2 「短期プログラム」は各学部等で実施している、学籍が発生しないプログラムに参加した外国籍の者。  
 (注)3 その他、在留資格「留学」以外の科目等履修生（7名）は除く。

9

## 英語で開講される授業科目/List of courses conducted in English 2024年度：696科目



<https://www.meiji.ac.jp/cip/preparation/globalnavi.html>

10

## EMIの課題 1

### ・ 学生の英語力と認知負荷の低減

- ✓学生の英語力のばらつきにより、授業理解度に差が生じる
- ✓第二・第三言語である英語で専門知識を学ぶことの認知的負担が大きい

#### 【解決策の例】

- ・ 言語を簡素化する
- ・ 視覚的な補助を取り入れる
- ・ Translanguaging（学生の母語と英語を併用する技法）を採用
- ・ 複雑な概念を小分けにして要約を提示する
- ・ 学生同士で学びあう機会を作る 等

11

## EMIの課題 2

### ・ 授業での発話

- ✓学生が言語のミスを恐れて、議論に参加したり質問するのをためらう
- ✓英語発話力の高い学生が議論を支配してしまうこともある

#### 【解決策の例】

- ・ 口頭でなくテキストでコメントする機会を作る
- ・ ディスカッションでは役割を与える（例：進行役、記録役、発表役）
- ・ Discussion Questionsを授業前に知らせておく

12

## EMIの課題3

### ・ 評価とフィードバック

✓学生のコンテンツ知識と英語力を区別して評価することが難しい

#### 【解決策の例】

・プレゼンテーション、グループプロジェクト、レポート、クイズ等、評価基準を複数設け、学生の能力を多角的に評価する

#### EMI HANDBOOK (Erasmus+)

[https://cip.ku.dk/english/projects-and-collaborations/taec/TAEC\\_Handbook\\_FEB\\_2020\\_NoEdit.pdf](https://cip.ku.dk/english/projects-and-collaborations/taec/TAEC_Handbook_FEB_2020_NoEdit.pdf)

13

## 2. EMI実践上のコツ

2024年7月30日明治大学にて実施

Teaching Effectively in English 英語で効果的に教えるために（基礎編）より」

Let's find out reasons why the student had difficulty following his lecture.

- ・ Pronunciation スローダウンする、発音レッスンを受ける、AIアプリを使う
- ・ Vocabulary/Terminology 事前に説明しておく、語彙リストを事前配布する
- ・ Grammar/Sentence structure 関係代名詞を使わず短い文で表現する
- ・ Overall structure 繋ぎ言葉を使う、都度理解を確認する

※Native speakerをTAにつける

致命的な文法エラー: 時制、動詞の形、能動・受動、構文、重要ボキャブラリー

軽微な文法エラー: 冠詞、単複、主述の一致

14

2024年7月30日明治大学にて実施  
Teaching Effectively in English 英語で効果的に教えるために（基礎編）より」

- ゆっくり話す  
(100 words/minだと学生の理解度が向上)
- 学生に助けてもらう
- 苦手な発音の単語を避ける
- キーワードを書きだす
- 事前に講義内容のスクリプトを書き起こす
- シンプルで短い文で話す
- アウトラインを示し、その通りに進める
- Transitionを明確にする
- 視覚教材を効果的に使う
- スライドをハンドアウトで配布する
- 質問のために講義を止める
- ノートテイキングのため講義を止める
- 重要事項を空欄にしたハンドアウトを配布
- 最後の5分=ノートの見直し、質問タイム
- 学生同士で教えあう時間を作る

15

2024年8月29日 参加  
中央大学FD研修「Inspiring Lectures in English 英語で授業を行う場合の基本的スタイルと教授法を学ぶための講座（初級編）」

- Signposting
- Presenting two sides of an argument
- Summarizing
- Illustrating with examples
- Encouraging participation
- Handling difficult situations: **Mr. Soft Voice, Ms. Golden Silence, Mr. Forever Comments, Ms. Topic Changer**

16

2024年8月29日9:20-16:30 参加

中央大学FD研修「Inspiring Lectures in English 英語で授業を行う場合の基本的スタイルと教授法を学ぶための講座（初級編）」

- Signposting

Which sentence catches students' attention better?

- a) The case study of 2024 by Harris is a great example.
- b) One great example is the case study of 2024 by Harris.

By indicating what information will follow (signposting), you can highlight key points.

17



## 課題の持ち寄り

1. グループディスカッション
2. まとめ

18

## 1. グループディスカッション

### Room 1

抽象的な内容を分かりやすく英語で伝えることが難しいことがある

19

## 1. グループディスカッション

### Room 2

学生からの質問が聞き取れないことがある

20

## 1. グループディスカッション

### Room 3

発言力とリスニング力のある学生がその場の支配権を握ってしまうことがある

21

## 1. グループディスカッション

### Room 4

英語のレベルをどの学生に合わせればよいか

22

## Breakout Roomで5分間話し合った後、 アイデアを全体に共有してください。

### Room 1

抽象的な内容を分かりやすく  
英語で伝えることが難しいこ  
とがある

### Room 2

学生からの質問が聞き取れ  
ないことがある

### Room 3

発言力とリスニング力のある学  
生がその場の支配権を握ってし  
まうことがある

### Room 4

英語のレベルをどの学生に合わ  
せればよいか

23

## 全体共有タイム

### Room 1

抽象的な内容を分かりやすく  
英語で伝えることが難しいこ  
とがある

### Room 2

学生からの質問が聞き取れ  
ないことがある

### Room 3

発言力とリスニング力のある学  
生がその場の支配権を握ってし  
まうことがある

### Room 4

英語のレベルをどの学生に合わ  
せればよいか

24

# まとめ



EMIの現状と課題

EMI実践上のコツ

グループディスカッション

25



## 【お願い】 参加報告書のご提出

10/10(木)までに指定のフォーム  
(9/27にお送りしております)にて  
ご提出をお願いいたします。

26

# 今後の予定

(現在調整中です)

## 英語によるウェビナー

ネイティブスピーカーのEMI専門家によるオンライン講義  
(2024年12月中旬)

## EMIセミナー実践編

外部招聘講師（日本人）による  
模擬授業を含むセミナー実践編  
(2025年2月下旬)

27



ご参加ありがとうございました



28